

「福岡県プレイリーダー2級研修会 (兼) アンビシャス・青年リーダー第2回筑豊地域研修会」 事業報告

- 1 事業名 令和4年度「福岡県プレイリーダー2級研修会(兼) アンビシャス・青年リーダー第2回筑豊地域研修会」
- 2 研修内容
研修1〈講義〉「遊びから多くの学びが ～プレイリーダーの必要性について～」
筑豊教育事務所 社会教育室 社会教育主事 林 修平
研修2〈講話・演習〉
「コロナ禍でも楽しめる体験活動について」
下関市深坂自然の森 森の家下関 所長 井上 桂 氏
- 3 日時 令和4年6月19日(日) 9:00～12:35
- 4 会場 福岡県教育庁筑豊教育事務所 (飯塚市立岩 1401-2)
- 5 対象 子ども会育成連合会関係者、アンビシャス・青年リーダー
管内市町村教育委員会職員(青少年教育担当)
アンビシャス広場関係者、地域活動指導員、その他希望者
- 6 当日の様子



【プレイリーダーの必要性】



【井上先生の講話】



【交流する参加者】



【井上先生の演習】

本研修会は、コロナ禍において子どもたちが「主体的に活動できる体験活動の指導方法」や「安心・安全に活動できるための環境作り」について学んでいただく研修内容としました。

筑豊管内では、新型コロナウイルスの影響により体験活動の行事・イベントが中止になったり、内容を大幅に変更したりするなど、体験活動の機会が制限される状況に関係者の方も苦慮されていきました。しかし本研修会の講話や演習を通して、参加者から「コロナ禍でレクリエーションの制限があっても工夫をすることで、子どもたちが主体的に活動できるような体験活動の指導方法について学ぶことができた」「講話・演習において安全管理では、想定されるリスクを関係者で共有し、事前準備を重ねていくことが大切だとわかった」等の声が聞かれ、コロナ禍における主体的な体験活動の指導方法や安心・安全に活動できる環境作りについて学んでいただくことができました。その他にも、「体験活動や安全管理の実践や具体例を、今後に生かしていきたい」という感想が多くあり、コロナ禍でも子どもたちが安心・安全に楽しく活動することができるために必要な知識・技能を高めることができたと考えます。